



平成27年3月18日

各 位

会 社 名 黒崎播磨株式会社
代表者名 取締役社長 伊倉 信彦
(コード番号: 5352 東証1、福証)
問合せ先 取締役常務執行役員
総務人事部長 石丸 誠
(TEL. 093-622-7224)

黒崎播磨グループ2017年中期経営計画について

当社は、この度、2017年度までを実行期間とする「2017年中期経営計画」を策定しましたので、お知らせ致します。

○当社の主要顧客である国内鉄鋼業界を取り巻く環境は、アジアを中心とした大幅な需給ギャップの拡大による熾烈な競争環境激化が進むと考えられます。一方、海外においても、北米経済の好調さは見られるものの、新興国での経済減速、また東アジアでの一貫ミル本格稼働等による需給ギャップの更なる拡大が予想され、国内外鉄鋼各社からの耐火物に対する品質と価格への要求は非常に厳しいものになると想定せざるを得ません。

○加えて、円安による原材料費アップ、元高・中国人件費等コスト上昇による調達品価格の上昇も進み、今後、当社グループを取り巻く事業環境は、国内外共に更に厳しさを増すものと思われます。

○こうした環境下、2019年に迎える当社創業100周年時点でのあるべき姿を見据えつつ、『2017年中期経営計画 ～創業100周年への基盤づくり～』を策定いたしました。

2017年中期経営計画 ～創業100周年への基盤づくり～ 概要

- ①国内外での耐火物拡販・整備事業拡大
 - ・最大顧客でのシェア拡大
 - ・材工一体による国内建設用案件への確実な対応
 - ・海外拡販に向けた、グループ会社連携、地域別運営体制の整備、材工一括契約ビジネスモデル確立、廉価汎用品商品の開発
 - ・圧倒的競争力を有する新商品開発・実用化の推進
- ②耐火物事業での抜本的収益力強化
 - ・国内外最適生産体制の再構築
 - ・プロセス開発による生産性向上
- ③耐火物以外セグメントでの収益拡大
 - ・ファーンエス事業における築炉工の育成、築炉技能の担保・拡充と海外展開
 - ・セラミックス事業の海外展開、超精密低熱膨張セラミックス・燃料電池向け断熱材等新規分野開拓
- ④安全・防災対策と内部統制活動の全社的強化

以上の施策を推進することにより、連結売上高1,300億円、連結経常利益65億円を目指します。

以 上